

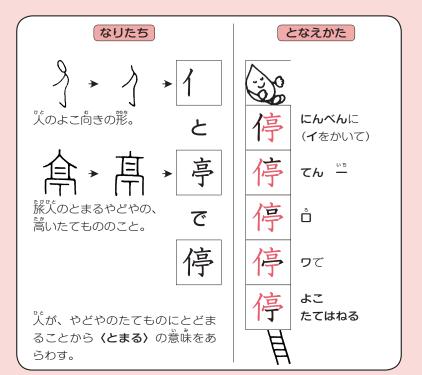


人(ひと)の部・11 m | た右型/ノ(ななめ)

<*Խ* −

(また) また (また)

● とまる・とめる ● 停学・停止・停車・停船・停船・停船・停電・ 停泊・停留所 ②やめる ● 停戦・停车・調停



2



ロ (< 5)の部・7値 上下型// (ななめ)

(A) つげる 正午を**告げる**鑵がなったとたん、おなかもなった。 ホテルのフロントで、名前を**告げ**てチェックインする。

つげる・しらせる・うったえる● 答示・答訴・答動・答覧・答案・答別・警答・記答・堂答・管答・管答・意答・ 3等答・論答



を つけよう 停の「冖」を「宀」としない。

きをつけよう 告の「生」を「牛」としない。





口(<ち)の部・12画

上下型/一(よこ)

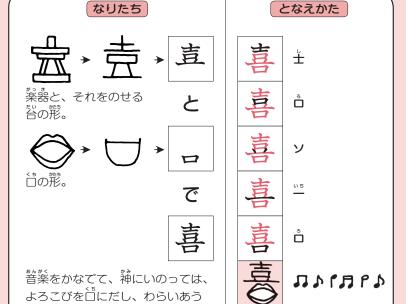
くん よろこぶ 赤ちゃんのたんじょうを、家族全員で**喜ぶ**。

苦労をすれば、それだけ**喜び**も大きくなる。

おん キ 昔のモノクロの**喜劇映画**をたのしむ。

喜寿の祝いは七十七才、米寿の祝いは八十八才だ。

はるこぶ・よろこび ● 喜悦・喜椒・喜ね・喜や・喜色・喜怒哀楽・喜や・一喜一憂・歓喜・狂喜・驚喜・随喜・悲喜







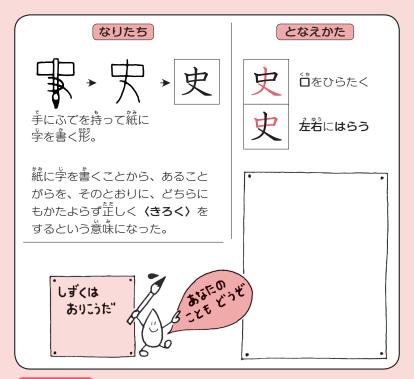
口(くち)の部・5画

その他型/ | (たて)

くん

きん シ 歴史が説は、史実にもとづいて書かれている。 その音、節があった京都には、名所や史跡が多い。 史上最大といわれる肉食恐竜は、ティラノサウルスだ。

きろく・ふみ ● 史家・史学・史皇・史書・史臣・史跡・史料・国史・世界史・戦史・地方史・泉洋史・白本史・文学史・文化史・宥史・耀史



ことから (よろこぶ) の意味をあ

らわす。





女 (のぶん)の部・11箇

左右型/一(よこ)

てん すくう 木からおりられなくなったネコを、はしごを使って**救う**。 災害にあってこまっている人に、**救い**の手をさしのべる。

おん キュウ ボランティアの人たちが、被災地へ**救援**に向かった。 レスキュー隊の決死の救出作業がはじまった。

いみ すくう・たすける・たすけ● 救援・救急・救護・救国・救済・救 出・救助・救世・救難・救貧・救命

なりたち



手のまわりに もがはえている だで、 もだのこと。



手にむちを持った幣で、 かるくたたいて発意する こと。

道でたおれて気をうしなっている <u>、</u> 炎を、かるくたたいて<u></u> 気づかせ、 主党をきせてやることからくすく **う・たすける〉**の意味になった。

となえかた

よこ たてはねて

ンをかき

チョン チョン つけて てんをうち

/ ^{いち}と

つづけて

左右にはらう (のぶん)







父(るまた)の部・10画

左右型/ **/** (ななめ)

てん ころす 害虫を殺す天敵の生き物は、「生物農薬」といわれる。 図書館は静かなので、声を殺して話す。

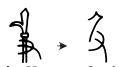
(サイ) 今までのチームの成績が相殺されるほど、いい試合だった。

(セツ) 無益な殺性はよくないから、気ははなしてやろう。

137 13

なりたち

しばる形と素の形。



• えの養いほこを手に持 つだで、たたくこと。

木にしばりつけたり、ほこでつつ いたりすることで**〈ころす〉**の意

となえかた

Х

木とかき

ルににた かたちで

フに若ばらい

t'int 入ってこない ページ

きを つけよう 救の「求」の右上の「丶」をわすれずに書く。

きをつけよう 殺の「メ」を「人」としない。

媒をあらわす。





イ (ぎょう)の部・11画 **左右型**/ **/** (ななめ)

本で知識を得るのも大切だが、経験するのはもっと大切だ。 くん える

(うる) 生物が存在し得る星をさがす研究がおこなわれている。

ぼくは水泳が好きで、なかでもクロールが得意だ。 おん トク

料理教室は、上達するし料理は食べられるし、一挙而得だ。

1える・手にいれる。 得手・得意・得点・得点・後得・整得・監視・ ②有利・もうけ・とくする。 得業・得失・一挙問得・所得・損得・

なりたち

十字路の差単分の形で、 いくこと。



手で、買 (お釜) と、 ものをとる形。

得

歩いていて、お金やものをひろう ことから、自分のほしいものを手 に入れることで(える・季にいれる) などの意味をあらわす。

となえかた

ぎょうにんべん (**ノ イ**とかき)

⊔்⊏

よこ たてはねて **てん**つける

52ページ いくな







上(とめる)の部・14画 その他型/一(よこ)

あん レキ 乗り物の歴史を調べて、年表をつくる。 **歴然**とした証拠があるのに、母はとぼけている。 人工衛星の打ち上げ成功は、**歴史的**なできごとだ。

いみ ①とおりすぎる・つぎつぎととおる・とおってきた**道** ●歴史・歴 戦・歴代・歴任・歴訪・学歴・経歴・職歴・遍歴・来歴・略歴・履 たました 歴書 **2**あきらか・はっきりしている。歴然・歴歴



かくで、いねをほす驚。



党の形で、歩くこと。

歴

いねを順序よくならべてほすよう に、人がつぎつぎと、順序よく場 いて誦ることから (つぎつぎとと おる〉の意味をあらわす。

となえかた

ノをかき

林に

止める







肉(にく)の部・9画

上下型/ (たて)

< h

おん イ 胃腸のじょうぶな人には、健康な人が多いといわれる。 おじいちゃんは、入院したおかげで胃病がなおった。 げっぷは、胃の中のガスが口からでるものだ。

いぶくろ (たべものをこなすところ) ● 胃液・胃炎・胃下垂・胃 癌・胃散・胃酸・胃弱・胃腸・胃痛・胃病





ふくろのやに食べ物が 入っているだ。



気の驚で、からだのこと。

胃

からだの中にある、食べ物が入る ふくろのことで、(いぶくろ) の意 **⁴** 味をあらわした。

となえかた

胃

たて かぎ たてで



よこ2紫



たて かぎはねて よこぼう2紫









肉(にく)の部・13画 **左右型**/ **/** (ななめ)

< h

おん チョウ 母はきのう、盲腸の手術を日帰りでうけた。 胃も腸も消化器のひとつで、あわせて胃腸といわれる。 りまた。 腸のはたらきをととのえる**整腸剤**をのんだ。 断腸の患いで、幼稚園からの友人にわかれをつげる。

しる ちょう・はらわた。腸液・腸炎・腸チフス・腸詰め・胃腸・十二指 腸・小腸・整腸・大腸・断腸・直腸・盲腸

なりたち

肉の形で、からだのこと。



太陽の下で、ふきなが しがはためいている幣。

はためいてうごく、ふきながしの ように、からだの中で長くのびて、 うごいている **〈ちょう〉**の意味を あらわす。

となえかた

(にくづきに)

見をかき

当に よこーで

ノをかいて

かぎまげ

はねたら

ノをふたつ



きを つけよう 腸と似ている空…賜





肉(にく)の部・10画 **左右型**/ **/** (ななめ)

< h

まん ミャク 祖母は毎日、朝と夜、血圧と**脈拍**をはかっている。 アルプス山脈の最高峰、モンブランの美しい写真。 主人公のことばの意味を、**文脈**にそって考えよう。

いみ ①みゃく・血管 ● 脈動・脈拍・血脈・静脈・動脈・命脈 ②すじ・ すじになってつづくもの。脈脈・脈絡・金脈・鉱脈・山脈・水脈・ 文脈・葉脈・乱脈

となえかた



なりたち

肉の形で、からだのこと。



※がの流れが、ほそく分 かれている形。

脈

血は、からだの中をいくつにも 分かれて流れていくことから、 〈みゃく・血管〉の意味をあらわ した。

肩をかき (にくづきに)

ノにノを たてて

ノに**たて**ぼう

左にはらって

क्ष



豕 (ぶた)の部・12画

その他型//(ななめ)

< h

ショウ 担任の先生は、初対面の印象よりも楽しい人だった。 **ゾウ** アフリカ象は耳が三角形で大きく、背中がくぼんでいる。

■ ① ゾウ ● 象牙 ② かたち・すがた ● 象形文字・象徴・節象・気象・ 現象・事象・対象・万象

なりたち

動物の**〈ぞう〉**のこと。この字が、 ぞうの幣をかたどってつくられた 学なので**〈かたち・すがた〉**など の意味もあらわす。

ノに

となえかた

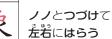
クをかいて

たて かぎ

そこふさぎ

しきり

たてまげはねて





きを つけよう 脈と似ている学…派

小学校高学年が対象。性格が対照的だ。 つかいわけ





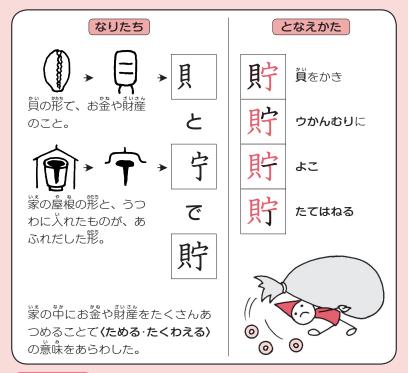
貝 (かい)の部・12画

左右型/ (たて)

<*h*

おん チョ お年玉は、ぜんぶ貯金した。 **貯蓄**は多いほうが安心だ。 方が一のときのために、食料を**貯蔵**する。

ためる・たくわえる。貯金・貯水池・貯蔵・貯蓄・貯木



क्स

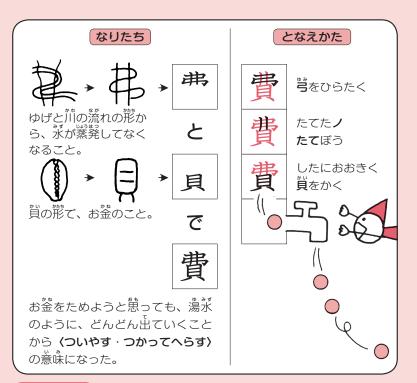


貝(かい)の部・12画 上下型/一(よこ)

くん (ついやす) 市立図書館は、半年の月日を**費やし**て完成した。 (**つい**える) 精神資源はおそかれ早かれ、いつか**費える**日がくる。 られる。 自ごろから、時間を空費しない心がけをもつ。 おんと

生産、流涌、消費のつながりを、経済という。

いみ 1ついやす・つかってへらす●空費・出費・消費・浪費 2必要な おかね。費用・会費・給食費・経費・工費・公費・雑費・実費・私 費・食費・旅費



きをつけよう、貯の「丁」のたてぼうは、横ぼうの空につきでない。

きを つけよう 「費やす」は「費す」としない。





貝 (かい)の部・15画 上下型/ | (たて)

< h

おん ショウ 福引きで三等を当てて、賞品のお米をもらった。 ハムの賞味期限がとっくにきれている。 家族で県立美術館に行って、名画を鑑賞する。

● はある・ほうび ● 賞金・賞養・賞禄・遺録・賞男・賞男・賞品・賞舎・賞島・賞揚・恩賞・激賞・懸賞・参加賞・受賞・精勤賞・大臣賞・入賞 **②あじわいたのしむ** 賞味・観賞・鑑賞

なりたち となえかた たて チョン チョン まどからけむりがでて いる形。 ワかんむりに 賞 ح أ 覚の形で、お金のこと。 かい 賞 てがらをたてた人に、屋根よりも **嵩くのぼるけむりのように、ほう** びをたくさんやることから (ほめ **る・ほうび〉**の意味をあらわす。



米(こめ)の部・10画 **左右型/ヽ**(てん)

てん こ パンは、**小麦粉**、水、イースト、塩などを材料としてつくる。 **こな** きのうの夜から、**粉雪**がしんしんとふりつづいている。 コンクリートの地質におとした質が、粉みじんにわれた。

おん フン ミツバチは、みつや花粉を集めて、巣にもどる。

いみ こな・こまかくくだいたもの ● 粉薬・粉炭・粉みじん・粉雪・小麦 粉・火の粉・粉骨砕身・粉砕・粉食・粉乳・粉末・花粉・金粉・受





形で、分けること。

彩などのこくもつを、こまかく くだき、分けることから**〈こな**・ こまかくくだいたもの〉の意味を あらわす。

となえかた









母(はは)の部・8画

上下型/一(よこ)

<*h*

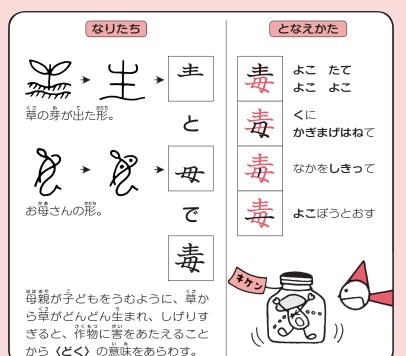
毒虫にさされたらしく、手の甲が赤くはれあがった。

毒にも薬にもならない獣。

養をもって養を制する。

つゆどきは食べ物がいたみやすいので、食中毒に気をつける。

いみ **1** どく • 毒殺 · 毒素 · 毒草 · 毒物 · 毒味 (毒丸) · 毒虫 · 毒失 · 毒 薬 · 解毒 · 消毒 · 後中毒 · 中毒 · 有毒 切るもの • 毒牙 · 毒舌 · 毒婦 · 害毒







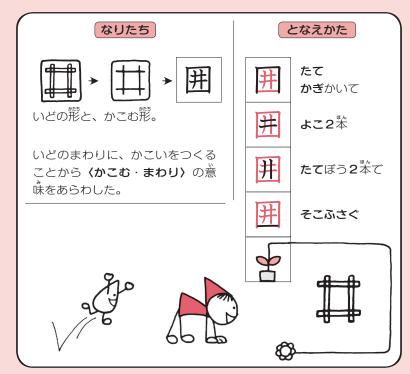
口 (<に がまえ) の部・7 画 **その他型/** | (たて)

くん かこむ 東北の、四方を山に囲まれた対が、 $\hat{\nabla}$ の故郷だ。 かべ新聞のタイトルの文字を、四角で囲む。

かこう サッカーをするために、白線でそれぞれの陣地を**囲う**。

わたしは質問に、知っている**範囲**でこたえた。 おんイ 池の周囲を歩くと、さまざまな中がみつかる。

いみ かこむ・まわり ● 囲碁・胸囲・四囲・周囲・範囲・包囲



きを つけよう

囲は「冂」を書いてから「井」を書く。





土 (つち)の部・9画

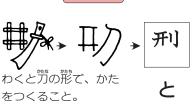
上下型/一(よこ)

くん かた 生地を型にはめて、動物のクッキーをつくる。

型にはまったファッションではなく、もっと個性をだしたい。 家庭科の授業で、型紙にあわせて布を切る。

おん ケイ おじいちゃんは、船の**模型づくり**に熱中している。

1かた・もとになるもの●型紙・鋳型・大型・木型・小型・新型・ 型 · 類型



なりたち



地面から葬が出た形で、 きのこと。

型

土でかたをつくり、それにとかし た金属をながしこんで、いものの 道真をつくったことから**くかた**・ **みほん〉**の意味をあらわした。

となえかた

よこ よこ

たて たて

たて2本 おわりを はねたら

土をかく







土 (つち)の部・11 画 上下型/ (たて)

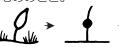
< h

おん ドウ 近所のお寺の本堂がたてなおされるそうだ。 がっきゅうかい 学級会で、自分の考えを**堂堂**とのべる。 食堂に入って、名物のアイスクリームを食べた。

②おおくの人がはいるたてもの ● 会堂・議事堂・公会堂・講堂・食 堂 3りっぱなようす。堂堂・正正堂堂

なりたち

家のまどからけむりが 出ている形で、意いた てもののこと。



地面から葬が出た形で、 手管のこと。



土

十巻のずにたてた嘗いたてものの ことから (ごてん・りっぱなたて **もの〉**の意味をあらわした。

となえかた

たてぼう チョン チョン



ワをかいて



Ĺ た か ら た く



≟つける







士(さむらい)の部・3画 その他型/一(よこ)



舟(ふね)の部・10首 **左右型**/**/**(ななめ)

< h

おん シ ひいおじいさんは、市の名士として着がとおっている。 ^{きゅうしょく} 給食のメニューは、**栄養十さん**が考えている。

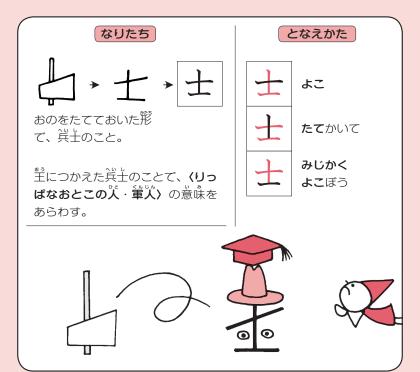
■ ① りっぱなおとこの ※ ○ 土 笠 ・ 締 土 ・ 煮 土 ・ 茗 土 ・ 宮 土 ② ある 資 が**格をもつ人** ● 栄養士・代議士・博士(博士)・飛行士・弁護士・海士 ●生官・士気・兵士

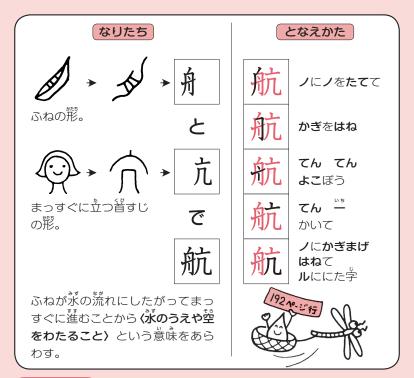
●特別な読み…博士・(海士・<u>戻し</u>)



おん コウ 本州から北海道へ行くフェリーには、いくつかの**航路**がある。 台風のため、羽田発の便はすべて欠航になった。

・渡航・密航









<h ----

まれる。 おん キ 記行文とは、旅行記のことだ。 二十一世紀には、火草の宥人探査が計画されている。 「古事記」と「白本書紀」をあわせて記紀という。

